



iPhone と iPad の配備 標準規格に基づくサービス



共通のポート

- IMAP/SSL : 993 993
- SMTP/SSL : 587 587
- LDAP/SSL : 636 636
- CalDAV/SSL: 8443, 443
- CardDAV/SSL: 8843, 443

IMAP または POP 対応の E メールソリューション

iOS は、Windows、UNIX、Linux、Mac OS X などの様々なサーバプラットフォームで稼動する、業界標準の IMAP および POP3 対応のメールサーバをサポートしています。

CalDAV および CardDAV 標準

iOS は、CalDAV カレンダープロトコルと CardDAV 連絡先プロトコルをサポートしています。どちらのプロトコルも IETF によって標準化されています。詳しくは、CalConnect Consortium (<http://caldav.calconnect.org/>) と <http://carddav.calconnect.org/> を参照してください。

iOS は、IMAP メールプロトコル、LDAP ディレクトリサービス、CalDAV カレンダープロトコルおよび CardDAV 連絡先プロトコルといった規格をサポートしているため、標準規格に基づく E メール、カレンダー、連絡先を利用するほぼすべての環境に統合することができます。ネットワーク環境がユーザ認証と SSL を要求するように構成されている場合、iPhone や iPad は標準規格に基づく社内の E メール、カレンダー、タスク、連絡先にアクセスするための安全なアプローチを提供します。

一般的な構成の場合、iPhone と iPad は IMAP と SMTP のメールサーバに直接アクセスし、ワイヤレスで E メールを送受信します。IMAP ベースのサーバとワイヤレスでシンクすることもできます。また、iOS デバイスは、LDAPv3 で構成された企業内ディレクトリにも接続でき、ユーザがメール、連絡先、メッセージなどのアプリケーションから、社内の連絡先にアクセスできます。CalDAV サーバとの同期により、ユーザはワイヤレスでカレンダーの出席依頼を作成・承諾したり、カレンダーの更新情報を受信することができ、リマインダーアプリケーションのタスクもシンクされます。さらに、iPhone と iPad は CardDAV に対応しているため、vCard フォーマットを使用した CardDAV サーバとシンクして連絡先を管理できます。すべてのネットワークサーバは DMZ サブネットワーク内、企業のファイアウォールの背後、またはその両方に配置できます。iOS は、SSL を使って、128 ビットの暗号化と、主要認証局が発行した X.509 ルート証明書をサポートします。

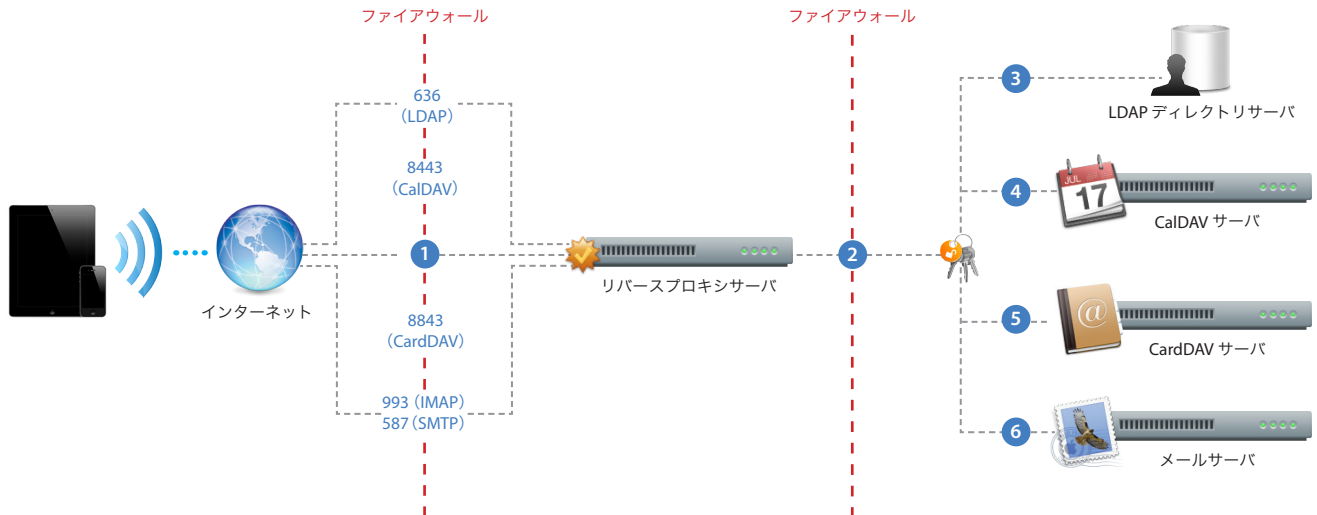
ネットワークの設定

IT 管理者またはネットワーク管理者は次の重要な手順を実施し、iPhone と iPad から IMAP、LDAP、CalDAV、CardDAV サービスへのアクセスを有効にする必要があります。

- ファイアウォールで必要なポートを開きます。標準のポートとしては、993 (IMAP メール)、587 (SMTP メール)、636 (LDAP ディレクトリサービス)、8443 (CalDAV によるカレンダー)、8843 (CardDAV による連絡先) があります。プロキシサーバとバックエンドの IMAP、LDAP、CalDAV、CardDAV サーバとの通信でも SSL を使用するよう設定することを推奨します。また、ネットワークサーバ上のデジタル証明書は VeriSign など信頼できる認証局 (CA) で署名されたものを使用することをお勧めします。この重要な手順により、iPhone と iPad が企業内インフラストラクチャにあるプロキシサーバを信頼できるエンティティとして確実に認識できるようになります。
- 外部向けの SMTP メール用にポート 587、465、25 を開き、メール送信を許可する必要があります。iOS は、ポート 587、465、25 の順に自動的にチェックします。ポート 587 はユーザ認証を要求するため、最も信頼できる安全なポートです。ポート 25 は認証を必要としないので、一部の ISP ではスパム防止のためにデフォルトでこのポートをブロックしている場合があります。

配備シナリオ

iPhone や iPad と一般的な IMAP、LDAP、CalDAV、CardDAV との接続例を示します。



- 1 iPhone と iPad は、指定されたポートでネットワークサービスへのアクセスをリクエストします。
- 2 サービスによっては、ユーザが企業のデータにアクセスする際、リバースプロキシから認証を受けるか、サーバから直接認証を受ける必要があります。すべてのケースで、接続はセキュアゲートウェイとして機能するリバースプロキシ(通常は企業のインターネットファイアウォール内に設置されている)により中継されます。認証が完了すると、ユーザはバックエンドサーバ上の企業データにアクセスできるようになります。
- 3 iPhone と iPad は LDAP ディレクトリでの検索サービスを提供します。これにより、ユーザは LDAP サーバ上の連絡先やアドレスブック内のそのほかの情報を検索できるようになります。
- 4 CalDAV カレンダーでは、ユーザはカレンダーにアクセスし、更新することができます。
- 5 CardDAV の連絡先は、サーバ上に格納され、一度読み込めば iPhone と iPad ではオフラインで確認することができます。CardDAV 連絡先のフィールドを変更すると、CardDAV サーバに反映されます。
- 6 IMAP メールサービスでは、プロキシを経由してメールサーバに接続し、既存、新規メールを iPhone や iPad で読むことができます。送信する E メールは SMTP サーバへ送られ、ユーザの「送信済みメッセージ」フォルダにメールのコピーが置かれます。